



## 「どんな環境をも糧にできる力」

学校長 福田 雅子

9月5日付朝日新聞の記事。全日本吹奏楽コンクール関西大会への出場を、常連校の大阪府立淀川工科高が辞退した決断についての内容である。コロナ禍の他にも困難が迫り、キャプテンを中心に部員たちがそれぞれに思いや意見を出し合った結果、みんなで辞退の結論を導き出したということだ。大会という練習の成果を発表する場が励みとなり目標になるので、勿論出場したい強い気持ちは皆同じだと想像する。しかし、先輩たちのこと、指導して下さる先生のこと、自分たちの周り全てに思いを巡らす優しさというか、柔らかさ、高校生らしい清々しさ。一方で音楽が好きなんだという強さも感じられた。

加えて私が最も共感したのが、記事にあった「どんな環境をも糧にできる子どもたちの力」である。今年猶興生にも同様にその力が求められたし、恐らく身に付けてくれたのではないだろうか。2学期が始まった、しかし部活動はできない。文化祭は中止。体育祭も延期。いつもの放課後なら、教室、グラウンド、体育館、それぞれの場所で生徒の皆さんが仲間と或いは一人で、自身や自分たちにとって目標とするものに向かい、それぞれの成長のために挑戦している。放課後の静けさは何とも寂しい。けれど、凹んでばかりではなく、コロナ禍のこの状況で、ではどうする？と猶興生も問われた。同じ頃進路指導室には頼もしい2年生が、所謂赤本を借りに来たそうである。「部活動が始まると忙しくなって時間が取れなくなるから。」

日常が少しずつ戻ってきて大会やコンクールが開催されるようになり、2学期中旬以降、身に付けた力を存分に出し切った皆さんの活躍は素晴らしかった。個人で、また団体で多くの九州大会、全国大会への出場資格を勝ち取ってきた。出場した皆さんにとっては、上位大会までの練習や試行錯誤、更に本番と貴重な経験になったに違いない。惜しくも地区大会で涙を飲んだという人は、課題を考え指導者にアドバイスを求めて、昨日より今日、今日より明日とこれからまた進歩を積み上げてほしいと思う。そして、自分はこのままで頑張ることができるんだという自信を他の分野、例えば学習にも広げてほしい。得意教科の力をよりレベルアップするともっと言えば苦手科目にも諦めずに粘り強く取り組むとか。そんな猶興生の姿がきっと来年も期待できるはず。雨の中部活動に打ち込む元気な声が響いている。

## 未来力育成塾 12/11 (土)

10名の講師の講師をお招きして、未来力育成塾を実施しました。1・2学年の生徒たちは、3つの講義を選択して受講し、地元で働く方々の働き方、価値観に関する講義を受講することで、生き方や進路選択の幅を広げることができました。



生徒の感想：■薬剤師の方の話を聞いて、勉強だけでなくいろいろな経験や人とのつながりの大切さを教えていただきました。■社会人になってからは自分自身の行動の1つ1つに責任を持つことが大切だと言うことが分かった。

# 修学旅行

3泊4日で鹿児島、熊本へ行ってきました♪

1日目は、新幹線で鹿児島へ向かい、科学館、仙巖園、水族館へ。



2日目は、知覧特攻平和会館を訪れた後桜島へフェリーで渡り、体験学習をしました。



3日目は、熊本城震災学習、阿蘇ミルク牧場でアイスクリーム作り体験などをしました。



最終日は、グリーンランドを満喫しました。

4日間天気にも恵まれ充実した修学旅行になりました。

## ★生徒の感想★

1番楽しかったのはグリーンランドで、人生初のジェットコースターで怖いと思ったけど楽しかったです。仙巖園では、中学校で習った歴史の知識を使うことができました。紅葉も綺麗でした。鹿児島科学館で、ボイジャーやプラネタリウムがあり知識が広がりました。

## 1月の行事予定

- 4日(火) 5日(水) 3年ファイナル模試
- 6日(月) 7日(火) 全学年補習(希望者)
- 11日(火) 始業式、1・2年実力考査、3年授業
- 13日(木) 第3回選択的読書(～28日)
- 15日(土) 16日(日) 大学入試共通テスト、1・2年進研実力(希望者)
- 17日(月) 家庭学習調査(～23日)
- 28日(金) 競歩大会

